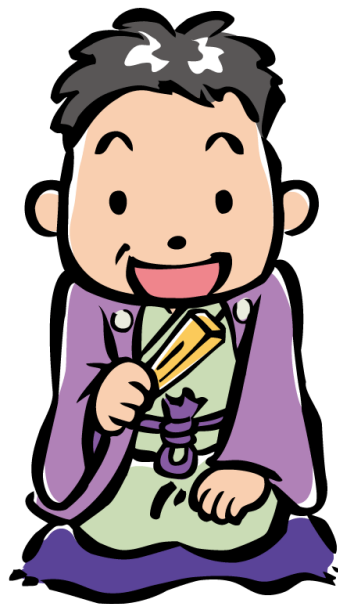


コミュニケーションは

八つあん・熊さんが教えてくれる？！



落語の本

卒業までに読みたい

八つあん・熊さんは長屋に住む落語の世界の登場人物ですが、本当にコミュニケーションを教えてくれるのでしょうか？落語の演目に登場する江戸の町の庶民は口が悪いながらも、他人を慮る優しい気持ちにあふれた人が大勢いますが、そこには現代では忘れられた人付き合いの極意が隠れています。卒業までに多くの「落語」の本を読み、コミュニケーションについて考えることは、社会人になってからも役に立つことでしょう。

平成 22 年 6 月－7 月

学習院大学図書館 1F 展示

[落語って何でしょう？]

落語はとっても身近な伝統芸能ですが、皆さん「敷居が高いなあ～」と感じていませんか？落語は寄席で聴くとその良さが直ぐに分かると思います。でも「初めてだから寄席は行きづらいなあ・・・」と気後れしてしまう皆さんに、落語を知ってもらおうきっかけとなる本を紹介します。

落語ハンドブック／山本進編	大学図・2F 参考	779/49a
落語への招待	大学図・書庫	779/51
落語お作法	大学図・1F 開架	779/72
落語にアクセス／小野幸恵著	大学図・1F 開架	779/76

[落語の歴史]

落語の祖といわれる安楽庵策伝あんらくあんさくでんは安土桃山時代の人ですが、落語という芸能は江戸時代から今日まで発展し続けています。

落語：笑いの年輪／興津要著	大学図・1F 開架	081.2/61/1675
図説落語の歴史／山本進著	大学図・1F 開架	779/83

《安楽庵策伝》あんらくあんさくでん

安楽庵策伝は京都にある誓願寺の第五十五世法主でした。その誓願寺のホームページによると同寺では落語発祥の地として、毎年十月初旬の日曜日に「策伝忌」を営まれ、追慕の法要とともに奉納落語会を開催しているそうです。

安楽庵策伝和尚の生涯／関山和夫著	大学図・1F 開架	188.5/198
醒睡笑：戦国の笑話／安楽庵策伝著；鈴木棠三訳	大学図・1F 開架	080/4 イ/31



[落語の演目]

落語といえば人情噺がお薦めです。噺の主人公は江戸の庶民。日々の暮らしが厳しくても、正直に、時には逞しく生活していた心持のよい人達が登場人物です。相手の気持ちを慮れる優しさが良いですなあ。その他にも色々な噺が載っていますので、お気に入りを見付けてください。

落語事典／東大落語会編	大学図・2F 参考	779/26
一話3分落語ネタ入門／桂歌若著	大学図・1F 開架	081.2/72/175
落語一日一話：傑作噺で暮らす一年三六六日／野口卓著	大学図・1F 開架	779A/N93r
落語手帖／矢野誠一著	大学図・1F 開架	779A/Y58r
定本落語三百題／武藤禎夫著	大学図・1F 開架	913.7/1311

[名人の噺・三遊亭圓朝]

三遊亭圓朝は幕末から明治時代にかけて活躍した落語家です。落語の演目を多数創作しましたが、怪談噺にも名作があります。「牡丹燈籠」や「真景累ヶ淵」、真夏の寝苦しい夜にお薦めです。

三遊亭圓朝／永井啓夫著	大学図・書庫	779/53a
怪談牡丹燈籠／三遊亭圓朝作	大学図・1F 開架	081.2/33ア/296a
三遊亭圓朝／三遊亭圓朝〔著〕：森まゆみ編	大学図・1F 開架	910.82/46/3
圓朝怪談集／三遊亭圓朝著	大学図・書庫	913.7/172

《外国人の噺家》

三遊亭圓朝と人気を分けた落語家が、オーストラリア生まれの快樂亭ブラックです。外国人タレントの草分け的な存在です。

快樂亭ブラックの「ニッポン」：青い目の落語家が見た「文明開化」の日本と日本人／佐々木みよ子、森岡ハインツ著	大学図・書庫	779/46
---	--------	--------

[名人の噺・古今亭志ん生]

五代目古今亭志ん生は大正から昭和にかけて活躍した落語家です。多くの噺を得意としましたが、「火焰太鼓」が十八番として有名です。

志ん生の昭和／保田武宏著	大学図・1F 開架	779A/Y62s
志ん生滑稽ばなし／古今亭志ん生著	大学図・1F 開架	Chikuma/こ 7/3
志ん生艶ばなし／古今亭志ん生著	大学図・1F 開架	Chikuma/こ 7/4
志ん生人情ばなし／古今亭志ん生著	大学図・1F 開架	Chikuma/こ 7/5
志ん生長屋ばなし／古今亭志ん生著；小島貞二編	大学図・1F 開架	Chikuma/こ 7/6
志ん生廓ばなし／古今亭志ん生著；小島貞二編	大学図・1F 開架	Chikuma/こ 7/7

[落語鑑賞の壺]

自分の好きな噺は見つかりましたか？ここでは落語の聴き方や楽しみ方について書かれた本を紹介します。落語鑑賞の壺を見付けてください。

落語鑑賞の基礎知識／小山観翁著	大学図・2F 参考	779/27
今夜も落語で眠りたい／中野翠著	大学図・1F 開架	081.2/67/490
落語のレトリック／野村雅昭著	大学図・1F 開架	779/48/2
落語の愉しみ／延広真治、山本進、川添裕編集	大学図・1F 開架	779/69/1
名人とは何か／延広真治、山本進、川添裕編集	大学図・1F 開架	779/69/2
落語の空間／延広真治、山本進、川添裕編集	大学図・1F 開架	779/69/3
落語の種あかし／中込重明著	大学図・1F 開架	779/75
落語鑑賞の基礎知識／小山観翁著	大学図・2F 参考	779/27



[落語家の著作]

落語家には多才な方が多いですね。初心者が落語を楽しむために書かれた本、落語の世界を訪ねてみる本、落語の稽古の様子が分かる本、若い落語家向けに書かれた本などを多種多彩に揃えました。嘶と同様に滑らかな文体は一読の価値があります。落語の世界を深く知りたい方にお薦めです。

現代落語論／立川談志著	大学図・書庫	081.2/32/507
江戸東京落語散歩：嘶の細道を歩く／柳家小満ん著	大学図・1F 開架	291.3A/Y53e
落語家の生活／柳亭燕路著	大学図・1F 開架	779/36
落語家圓菊背中の志ん生：師匠と歩いた二十年／古今亭圓菊著	大学図・1F 開架	779/63
十代文治噺家のかたち／桂文治著；太田博編	大学図・1F 開架	779/70
落語家論／柳家小三治著	大学図・1F 開架	Chikuma/や 35/1

《学習院大学出身の落語家》

学習院大学の卒業生にも落語家がいらっしゃいます。

お名前は柳家喜多八さん。落語協会ホームページのプロフィールによると、
(<http://www.rakugo-kyokai.or.jp/Profiles.aspx?code=107>)

出身地：東京都練馬区、出囃子：梅の栄、紋：三ツ柏 得意ネタ：嘶はすべて愛しています 趣味：サイクリング 墓参 宝塚(なんと!) 自己PR： 滑稽嘶から大作まで、自由自在に操る力量を持ち稽古熱心で安定した力がある。とぼけた、愛すべき雰囲気をもち古典落語により味を発揮している。 落語界の将来を語るにおいて、この人抜きには考えられない。

卒業生の方の落語をぜひ聴きに行きたいですね☆

因みに「出囃子」と「紋」、何の事か分かりますか。今回展示した資料を読めば答えが見つかりますよ。調べてくださいね！

[落語に関するエッセイ]

時代を超えて愛されてきた落語は、多くの人々がその魅力を語っています。ここでは落語に造詣が深い方々が、落語の魅力を余すところなく伝えたエッセイを紹介いたします。特に『落語』（興津要編）では、小説家・評論家だけではなく、落語家自身が綴るエッセイも掲載されています。

落語名人会夢の勢揃い／京須借充著	大学図・1F 開架	081.2/67/471
寄席放浪記／色川武大著	大学図・書庫	779/24
落語／興津要編	大学図・書庫	914.7/302A/29
落語手帖／江國滋著	大学図・1F 開架	Chikuma/え 13/1
落語美学／江國滋著	大学図・1F 開架	Chikuma/え 13/2
落語無学／江國滋著	大学図・1F 開架	Chikuma/え 13/3

《寄席文字》

寄席の入口に出演者の名前を書いた独特な字体の看板が並んでいますが、これは寄席文字といいます。1ページ目で紹介した『落語ハンドブック』によると、もと落語家の橋右近が、提灯文字に芝居の勘亭流を折衷した昔ながらのビラ（ポスター）字に、さらに近代的な工夫を加えて「橋流寄席文字」を大成したそうです。江戸の情緒が感じられる看板や幟を見ると、寄席に引き込まれてしまいますね。



[江戸ことば]

落語の愛すべき登場人物が話す粋でいなせな江戸ことば。気分が落ち込んだ時に使ってみると威勢がついて元気になれるかもしれません！

落語ことば辞典：江戸時代をよむ／榎本滋民著；京須借充編	大学図・2F 参考	779/77
江戸ことば・東京ことば辞典／松村明著	大学図・1F 開架	081.2/61/1084
知って合点江戸ことば／大野敏明著	大学図・1F 開架	081.2/67/145
使ってみたい落語のことば／長井好弘著	大学図・1F 開架	779/74

[江戸の文化]

落語の舞台となった江戸の町、庶民はどのような暮らしをしていたのでしょうか？住まい・食べ物・仕事など、落語の背景を知れば、噺をより深く楽しむことが出来ますよ。落語の登場人物にも親しみがわいてきませんか？

競作かわら版落語と江戸風俗／つだかつみ著；中沢正人著	大学図・1F 開架	212.6/219/31
大江戸ものしり図鑑：ひと目で八百八町の暮らしがわかる	大学図・書庫	212.6/390
江戸文化の見方／竹内誠編	大学図・1F 開架	213.6A/Ta67e
落語の博物誌：江戸の文化を読む／岩崎均史著	大学図・1F 開架	779/73
落語歳時記／畠山健二著	大学図・1F 開架	779/92
落語で江戸のうらおもて京須借充著	大学図・1F 開架	Chikuma/き 23/1

[江戸しぐさ]

江戸庶民の暮らし方や知恵を現代に活かしてみませんか、実践編です。

「また会いたい人」と言われる話し方：入門江戸しぐさ／越川禮子著	大学図・1F 開架	382/261
---------------------------------	-----------	---------



皆さん、お気に入りの噺は見つかりましたか？
この展示で少しでも落語に興味を持っていただけたら嬉しいです。

なお、落語は人情噺だけではなく、

辛口の話もあります。

奥の深～い落語の世界をこれからも楽しんでください。

平成 22 年 6 月 1 日発行
(担当：情報管理課 山脇)